

第 19 回議会報告会報告書

令和 5 年 2 月

広聴広報委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第19回目の開催となった。

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、前回と同様に新型コロナウイルス感染症の影響下の中において、万全な感染対策を施し、対面式の開催とした。コロナ禍においても若い世代の参加促進など、感染症拡大防止に配慮しつつ市民との繋がりを大切にし、市民の意見を聞く貴重な場としての役割を担うべく取り組んだ。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目 次

はじめに	1
1 第19回議会報告会実施概要	2
2 主な意見及び要望	5
3 考察	13
4 資料	14

1 第19回議会報告会実施概要

実施体制について

- 今回の議会報告会は、①自治会対象の報告会と②常任委員会単位での報告会の2体制で実施した。
- 担当議員について、自治会対象では広聴広報委員での体制とした。
- 常任委員会委員単位では、各常任委員会委員による3班体制により実施した。
対象は各種団体とし、参加者を増やす方法として相手方団体へ出向く形を打診することとした。

内容について

全体の構成について

- 議会報告会の内容は2部構成で実施した。今回は参加者アンケートの意見を踏まえ、意見交換に重点を置き実施した。その分議会報告は簡略化し、スライドではなく、ポイントを絞った報告資料を作成し参加者に配布した。
- 第1部の議会報告は、定例会議の審査内容を一部抜粋して実施。質疑応答は行わず報告のみとした。
- 第2部の意見交換は、班ごとにテーマを設定して実施した。なるべく多くの参加者から意見聴取できるよう意見交換の時間を多くとった。

会場の設定及び参加者数について

会場設定について

- 自治会対象の報告会では、参加者が来やすいよう各地区の公民館での開催とした。
また、常任委員会単位の報告会では、相手方団体へ出向く方式も含めて、それぞれの班で会場を設定した。
- 自治会対象の報告会では、当初3地区での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により1地区のみの開催となった。

参加者数について

○各会場合計 51 名

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66

	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	第 17 回	第 18 回	第 19 回
開催年月	H30.11	R 元.6	R 元.11	R2.2	R2.7.17~9. 30	R2.11	R3.11	R4.5	R4.11
参加者数	78	23	70	152	※72	29	97	38	51

各班の実施状況

1 班

開催日時	令和 4 年 1 0 月 3 1 日（月）午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 3 0 分			
会場	黒磯消防署			
対象	那須塩原市消防団黒磯支団			
参加人数	1 9 人 （男性 1 9 人 女性 0 人）			
担当議員	班長	山形 紀弘	司会者	中里 康寛
	記録者	鈴木 秀信	記録者	星 宏子
	班員	相馬 剛	班員	鈴木 伸彦
	班員	中村 芳隆	班員	山本 はるひ
	班員	玉野 宏		
意見交換テーマ	自由意見交換			

2 班

開催日時	令和4年11月22日（火）午後2時～午後4時			
会場	いきいきふれあいセンター			
対象	地域支援員、			
参加人数	21人（男性4人 女性17人）			
担当議員	班長	森本 彰伸	司会者	星野 健二
	受付	小島 耕一	記録	林 美幸
	班員	三本木直人	班員	佐藤 一則
	班員	大野 恭男	班員	齋藤 寿一
	班員	金子 哲也		
意見交換テーマ	地域福祉について			

3 班

開催日時	令和4年11月22日（火）午後1時30分～午後3時30分			
会場	西那須野公民館			
対象	栃木県解体工事業協会			
参加人数	6人（男性6人 女性0人）			
担当議員	班長	田村 正宏	司会者	益子 丈弘
	記録者	堤 正明	記録者	室井 孝幸
	班員	齊藤 誠之	班員	平山 武
	班員	松田 寛人	班員	眞壁 俊郎
意見交換テーマ	立地適正化計画を見据えた空き家・空き地対策について			

4 班

開催日時	令和4年11月17日（木）午後7時～午後9時			
会場	三島公民館			
対象	三島自治会			
参加人数	5人（男性5人 女性0人）			
担当議員	班長	益子 丈弘	司会者	齊藤 誠之
	記録者	林 美幸	記録者	室井 孝幸
	班員	森本 彰伸	班員	小島 耕一
	班員	山形 紀弘	班員	星 宏子
意見交換テーマ	地域の交通安全について			

2 主な意見及び要望

班別テーマについて

1 班 消防団について

■男女共同参画について

- ・消防団に女性は厳しい。体力的な問題
- ・家事や子育ては妻に任せている
- ・子どもの面倒はみるようにしている

■消防団員の適正期間

- ・部長が実質的に務められるまで
- ・ラインとして活動すると18年ぐらい
- ・期限を決められると余計入りづらくなる
- ・人員が入ってこないのでも長くやっているのが現状
- ・16年でやめられると思っていた
- ・10年でやめられると思っていた
- ・人がいないので止められない

■入団のきっかけ

- ・先輩や友人に誘われて
- ・意志はなかった。半ば強制的に

■消防団に入ってよかったこと

- ・人間関係の繋がりが広がった
- ・消防・防災の知識が上がった
- ・地域との繋がりができた

■消防団への不満

- ・手当が低い。単価が安く、回数も少ない
- ・地域の風当たりが冷たい。あんまり理解されていない
- ・幹部に緊急車両がない。渋滞に巻き込まれると、遅れて指揮本部で指示ができない
- ・地域の理解が低い。自治会の応援も少ない
- ・地域の協力性も下がってきている
- ・イベントに縛られると辛くなる
- ・火事が夜、昼と続くと仕事を休まなければならない
- ・家族サービスができなくなる
- ・団員に勧誘の時間がない

→行政で消防団員募集の案内を出している

■操法大会について

- ・やることによって、いろいろ覚える
- ・練習してこそ実際に役立つことができる
- ・若い人たちが楽しんでできるように工夫
- ・大会は出たいところが出るという状況

■通常点検について

- ・寒くてもう行かないという感じ
- ・今短縮になっているが、もっと短くしてほしい

■消防団のイメージアップへ

- ・詰め所をきれいにし、来所者にまた来たいと思われるよう努力している
- ・行政の案内は実質効果がない
- ・コロナで関係が希薄になり瓦解している
- ・高校へ行ってアピールしては。行政も議会も支援する
- ・高校は難しい。小学校とか中学校で PR するのはどうか

■行政に望むこと

- ・赤バイクを各分団に 2 台ほしい
- ・学校や幼稚園・保育園での避難訓練などで格好よく見せる場を与えてほしい
- ・本部に詰所がほしい

2 班 地域福祉について

■自治会組織

- ・核家族化が進み、家族の中でも助け合うことが出来ない社会
- ・人との関わりを持つことが難しい社会
- ・自治会や育成会など所属しなくて良い自己選択できる時代になった
- ・民生委員の欠員が多く、自治会未加入者や地域福祉や見守り事業の課題が多い
- ・自治会組織加入の低下、役員の高齢化、役員のなり手不足、リーダーの力不足などで、地域福祉の推進ができていない
- ・民生員の負担が増えている
- ・自治会の個数が少なすぎて福祉活動まで手が回らない地域と大きすぎて末端まで活動が届かない地域がある
- ・人口減少と高齢化、子どもの減少と若年人口の流出
- ・高齢化で雪かきも出来ない
- ・地域活動全般的に担い手不足、負担増で魅了不足
- ・障害者の把握は高齢者の把握に比べると弱い
- ・身体機能の低下でゴミ捨てが大変。ステーションが使えない
- ・頼れる家族が近くにいない

- ・コロナ禍の中、生きがいサロンの開催が少なく、引きこもった高齢者の認知症が進んでいる
- ・自治会や育成会などに加入する意思が選択できる時代になったので加入しない人が多くなった

○改善案

- ・自治会加入のメリットをつくってはどうか（商品券配布）
- ・障害者の把握、地元民生員と協力していく
- ・雪かきなど地域（となり近所でお願いできないか）
（行政が入ると地域がやらなくなってしまう）
- ・高齢者支援を地域でできるだけ行う（ヘルパーさんが来ると手を引いてしまう）
- ・ゴミ捨てを近所に助け合いでやる
- ・知事会、自治会長の住民情報の把握を市が支援する
- ・自治会ポイントカードを作り、入会や活動にポイントをつけて市内のお店で使えるようにする
- ・自治公民館で行っている生きがいサロンで情報共有する
- ・子ども役員などの制度を作り、児童生徒に役割を作ってあげる。それらを学校と共有し、ボランティアや社会貢献ポイント制度として、活動に関わることのメリットを児童生徒に感じてもらう
- ・役員は楽しくできるように工夫する。初めの一步からやってみて良かったと感じてもらえる工夫が必要
- ・自治会長の立場と報酬を見直す
- ・自治会の活動と必要性を情報発信することで共感力として活動を理解してもらう
- ・子どもを中心に企画運営すると地域は変わっていく

■交通問題

- ・高齢者が病院や買い物に行く時に移動手段が少ない
- ・ゆ〜タクをうまく利用できない
- ・JR バスは高い
- ・免許返納後の生活の不便はタクシー券では足りない
- ・高齢者向けの交通手段が少なく、わかりづらい
- ・那須塩原駅から病院にいけるゆ〜バスがない
- ・高林地区にてバス停が遠い。

○改善案

- ・ゆ〜バスの小型化、運行の柔軟化
- ・タクシー券の増加
- ・送迎ボランティアの育成、保険等の支援
- ・タクシー券の倍増（地域によって）

- ・簡易的な小さなゴルフカートのような乗り物が地域を巡回して住民の足にできると良い
- ・送迎ボランティアの育成、保険等の支援
- ・完全自動運転車の利用に期待する

■ 全体

- ・一人暮らしの高齢者が増えている。空き家も増えている
- ・高齢者と若い世代の交流がなくなっている
- ・コロナ禍で地域活動が低下し、交流が低下している
- ・困窮世帯が増加している
- ・青木・高林地域に生活に必要なお店、郵便局そしてポストさえも少なく不便である
- ・高林の横断道路の歩道が狭い
- ・物価が高騰していて生活が厳しい
- ・包括で手続きをして対策ができる電話が周知されていないことで、特殊詐欺の被害が増えている
- ・子ども、若者が減り地域のお祭りやイベントを担う後継者がいない
- ・農家の後継者が足りない
- ・避難所がハザードマップで危険地域になっている
- ・災害発生時に情報をうまく受け入れていない人がいる
- ・災害の時、道が暗くて特に高齢者の避難が心配
- ・別荘が多くて、誰が住んでいるのかわからない
- ・スクールガードの高齢化が進み危険なので、若い人の協力が欲しい
- ・高齢者はインターネットが使えないので、市や事業所からの情報を若い人のように得ることができない（情報格差）
- ・働く場所が少ない
- ・産業における人手不足
- ・空き家が多い
- ・病院等に生活に必要な施設が近くにほとんどない
- ・買い物できるところが少ない（買い物難民）
- ・不登校児童・生徒の増加受け皿の少なさ
- ・ひきこもりに関する相談増加。対応機関の人は少ない
- ・若い世帯には専業主婦はいない。みんな働いている
- ・地域によって課題は違う
- ・普段の生活の中で共生社会をいう言葉を理解できる人は少ない
- ・人に伝える難しさがある

○ 改善案

- ・高齢者の居場所をつくる
- ・居場所を作る準備資金の制度化する
- ・ハザードマップの危険エリアを再調査し、避難所の安全性を確認する
- ・公民館で婚活パーティーを開いて若い人たちの出会いをサポートする
- ・掲示板を病院、自治公民館、お店などに設置し配布物も置く情報コーナーを作ってもらい市からの情報などを訪問者が共有できるようにする
- ・子ども食堂などをきっかけに地域は再生できる
- ・行政の役割、地域の役割、社協の役割を明確にして、協力体制で進める
- ・子どもパワーは重要。子どもがいるとみんなが頑張れる

3 班 立地適正化計画を見据えた空き家・空き地対策について

- ・協会の空き家対策に関する取組みは、栃木県への要望書提出や宇都宮空き家会議（宇都宮市）への参加がある
- ・空き家でもまずは、建物の延命を考慮する
- ・壊すと土地の固定資産税が増える
- ・解体時の廃棄物処理（アスベスト等）が課題
- ・解体の処理費用が増大している
- ・空き家の有効利用に民間の力の利用も考える
- ・空き家問題と課題解決の仕組みづくりを業界として取り組み、宇都宮市で宇都宮空き家会議を実現
- ・代執行は、最後の最後的手段
- ・栃木市は、蔵等、風紀地区があり解体しにくい、また、土地の地主が県外の方が多い。解体補助の上限は 20～25 万円。災害時は、激甚対策でまとめてやらなければならない。住みやすい場所として若者は 2000 万円ぐらいの分譲地を望んでいる
- ・空き家バンクの登録が栃木市は 100 戸以上だが、那須塩原市は 1 軒、空き家解体補助は上限 2 分の 1 で上限 50 万円である
- ・栃木市が対策の進んでいる理由としては、東京に近く住みやすい。また、学校教育が進んでいる。アピールがうまいのかもしれない。市長が教育分野に強く、子育てに力を入れている
- ・日光市の解体補助の上限 2 分の 1 で 100 万円である。面積にもよるが 200 万円の解体だと 30～40 坪程度

- ・アスベストがあると除去費用が3割増し、4割増しとなり、やりづらい。また、アスベストの調査費用も見込む必要がある。アスベストの屋根があると解体会社にたかれる
- ・温泉地のビルの空き家について、地区として何をアピールするか、魅力の発信をするべき
- ・栃木市ではビルを福祉施設に再利用している
- ・ランドマークなど、情報発信が重要。まず魅力あるまちにする。宇都宮市では大規模開発が中止となった、考慮する必要がある
- ・コンパクトなまちづくりを官民一体でやる
- ・解体申請手続きをアプリでやれないか。サポートしているところもある
- ・建物のリノベーションも考えられるが解体の魅力発信している。R P構造等、日本の技を誇りにしている
- ・解体時に建物内の家財の処分など一般廃棄物を扱えない。市に申請しても枠がいっぱいなので認可がもらえない。栃木市、下野市、小山市は申請すれば認可される

4 班 地域の交通安全について

【学校】

- ・通学路での車の一時停止無視を見かける
- ・小定点での見守り活動は行っているが、ずっと一緒に見守りが出来ないか
- ・見守りの人数が足りてないのではないか
- ・中学生の自転車の右側通行や、一時停止無視が散見する
- ・中学生が同じ通学路の為に歩行者と自転車通学で狭い箇所がある。小学生の集団登校の待ち合わせ場所で広がっているのを見ると危険を感じる
- ・中学生はマナーを守っているが、自転車の高校生はマナーが悪い。
- ・無灯火で走行する自転車があり、マナーが悪い
- ・通学路の進入禁止を守らず、進入してくる車がある
- ・朝、通学する子どもを送ってくる保護者の運転が荒い（小学校・中学校共に）
- ・自転車は道路のどちら側を走るのか理解しているのか。生徒児童のマナー低下が心配
- ・娘を持つ親として、女性ならではの心配が多く、夜間帯の一人での通学が心配
- ・電車で通学する生徒は送迎が当たり前の時代になった
- ・ヘルメット成長と共に買い替えをする必要もあり、経済的負担も大きい

- ・ 駅前に放置自転車がある
- ・ 家庭の地域の交通安全に関する指導教育はどうなっているのか
- ・ 防犯ブザーの現在の機能はどうなっているのか。形骸化されていないか
- ・ 小学生の通学時、朝は班登校なのでルールを守って歩いているが、帰りは個別になり、おしゃべりをして道に広がって歩いている子が多い

■対策

- ・ 交通安全教室でリアルな危険を学ぶと真実味がでて危機感を感じるのではないか
- ・ 通学路のグリーンベルトは効果があるので、もっと増やしてほしい
- ・ 朝と夕方の通学時間の車の進入禁止エリアを増やしてほしい
- ・ 横断歩道の歩行者が待っているところを明るくする
- ・ 学校周辺の道路に防犯カメラを設置してマナー違反の運転を抑止する
- ・ 学校やコミュニティを通して保護者や大人、子どもたちへの交通安全教室を充実させる

【地域住民】

- ・ 高齢者の交通問題を有償ボランティアで解決する仕組み作りが必要なのではないか
- ・ スクールガードは頼りにしていないが、夕方の立哨は有効と感じる
- ・ 高齢者で大きな車を乗っている人がいて、怖いことがある
- ・ 夜間の運転で、暗いところを歩いている人がいるが車の数も多いのでハイビームが使えなく、見にくいことがある
- ・ 三島神社入口、右折車両と直進車両の事故が何度か起きている。(ハード面による)
- ・ 国道4号線北側の碁盤の目のようになっている道路を一時停止しない車がいる
- ・ 同上の箇所です速度超過の車が見られる
- ・ 通行禁止時間帯でも通行してしまう車がいる

■対策

- ・ スクールガードは善意の活動であるため、何をしているのか知ってもらう必要がある
- ・ 速度制限 25km~30km の区間を広げる(申請中)

【PTA 保護者】

- ・ PTA を頼まれても現在は共働きが多く引き受けるのが難しいので、地域住民を頼りにするしかない。
- ・ 交通指導員のような専門的有償ボランティアの重要性あり

■対策

- ・ 各家族の負担軽減が必要

【地域】

- ・ 飲酒した歩行者が国道をふらふら渡っていることがあり危険である

- ・狭い住宅街の道なのにすごいスピードで走っていく車がある
- ・碁盤の目の道のなかで、道幅が狭く、囲いもないので、自転車で田んぼに落ちて
いる人を見かける
- ・街灯が少なく歩行者が見にくい。横断歩道で渡ろうとしている人も見えないこと
がある
- ・カーブミラーの位置や高さで、車によって見えにくいところがある
- ・朝、カーブミラーに朝露がついたり、霜がついたりして見えにくいところがある
(上部のつばの部分が割れている)
- ・雨が降った時の排水がうまくいっていないところがある
- ・三島交差点から、赤田の Y 字路までの塩原街道の整備が遅れている。道幅も歩道
も交通量に対し、狭い
- ・道路の自転車通行帯が分かりにくい
- ・自転車の逆走（右側通行）が多い
- ・地域団体はあまり知らない
- ・一人ひとりの意識の向上が必要
- ・信号も横断歩道も長い距離無いところがあり、何も無いところを横断している人
がいる（4 号線、蛇尾川のそば）

■対策

- ・地域でできること個人でできること一人ひとりの負担を減らせるように連携が重要
- ・高齢者が免許証返納しやすい様に、オンデマンド交通の充実、配布タクシー券の
増額、ゆ〜バスの使い方や路線図を分かりやすくするなど対策を施す
- ・街灯を LED 化して数を増やす
- ・歩行者の優先を徹底する
- ・「子供を守る家」を地図に落としスタンプラリーを行いコミュニケーションを図る

【企業】

- ・企業の証明などの活用など資源の有効活用を検討すると良い
- ・監視カメラのど企業の資源の活用がもっとできるはず
- ・防犯灯の数が少なく暗い

■対策

- ・企業の CSR 活動として、防犯カメラや街灯を社会活動に提供する。これらに市は
補助金等の支援でサポートする
- ・事業所も登録している「子供を守る家」との連携し、見守りや声かけを協力しても
らう

【行政】

- ・道路の整備が遅い
- ・立て看板の有効性はどうなのか
- ・スピードを抑制する手段はないのか

■対策

- ・道路にバンプをつけてスピードの抑制を図る
- ・道路の修繕には優先順位をつける

【警察】

- ・取り締まり人員を増やし、パトロールを強化する
- ・ゾーン30が守られていない
- ・飲酒運転やあおり運転がある

■対策

- ・青パトや交通指導員やスクールガードの権限や権威を高める方策が必要
- ・警察と地域の連携を強化する
- ・アルコールチェッカー活用を周知する
- ・警察に取り締まりを強化してほしい

3 考察

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、議会報告と意見交換を対面式で、4班体制で各1回実施した。

市民への周知については、各議員からの呼びかけ、市議会ホームページや本市のメール配信サービス、Facebook等、SNSなども使って周知をした。参加者数については、全体で51名の参加をいただいた。今回は、参加者より要望の強かった意見交換をより充実、重きを置いた構成とした。

意見交換については、各班でテーマを設定し、意見交換を実施した。6割以上の参加者からは、「満足」との回答が得られた。

今回の意見交換で得られた意見・要望等については、各議員で政策提言などに活用していただきたい。

今回においても、コロナ禍であったが議会活動を市民に説明する責務を果たし、充実した意見交換が開催できた。関係各位に感謝を申し上げて考察とする。

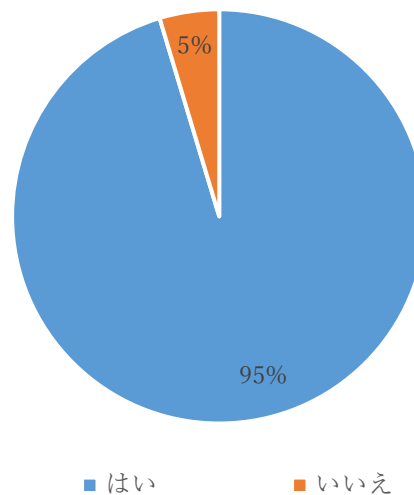
4 資料

アンケート結果

○アンケート回収数 43 枚

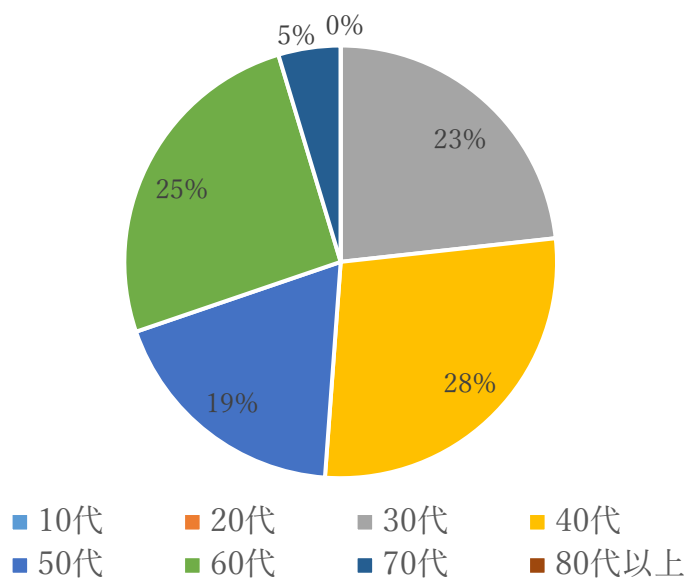
問1 那須塩原市にお住まいですか。

はい	41
いいえ	2



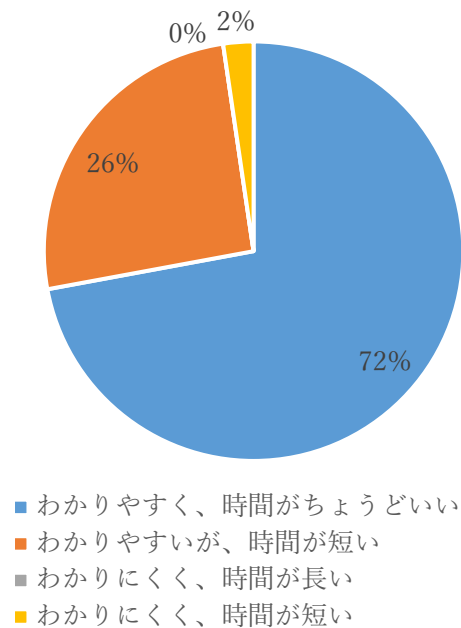
問2 年齢についてお答えください

10代	0
20代	0
30代	10
40代	12
50代	8
60代	11
70代	2
80代以上	0



問3 議会報告について、時間配分・説明内容はどうでしたか。

わかりやすく、 時間がちょうどいい	31
わかりやすいが、 時間が短い	11
わかりにくく、 時間が長い	0
わかりにくく、 時間が短い	1

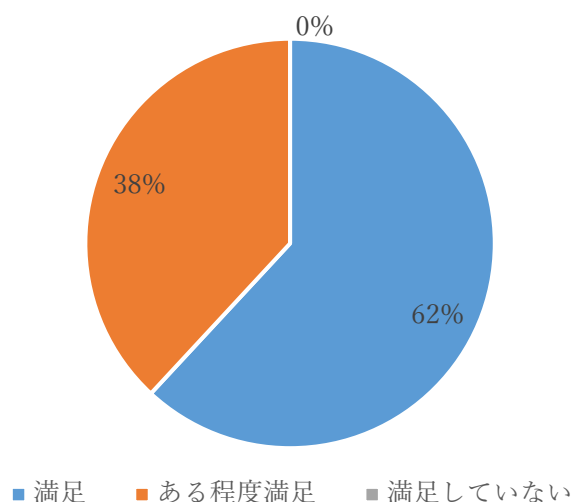


○その理由

- ・簡潔でちょうどよかった
- ・わかりやすく、スムーズでした
- ・話し合いの時間が短いですね
- ・消防についてピックアップできていた
- ・もう少し細かいところを聞きたい
- ・今回は言いたいことが浮かんでも言えない感じでした
- ・本当はもっと話したいと思いますが、時間の都合上で申し訳ありませんでした
- ・適切な時間設定だと思います
- ・身近に感じてよかった
- ・ファシリテーターが上手だった
- ・一部だったので。(時間が短い。)
- ・議会に出席したことがなかったので、内容が知れた
- ・もう少し詳しく聞きたかったかな…
- ・報告項目が少ない

問4 今回意見交換を重点的に実施しましたが、その感想をお聞かせください。

満足	26
ある程度満足	16
満足していない	0



○その理由

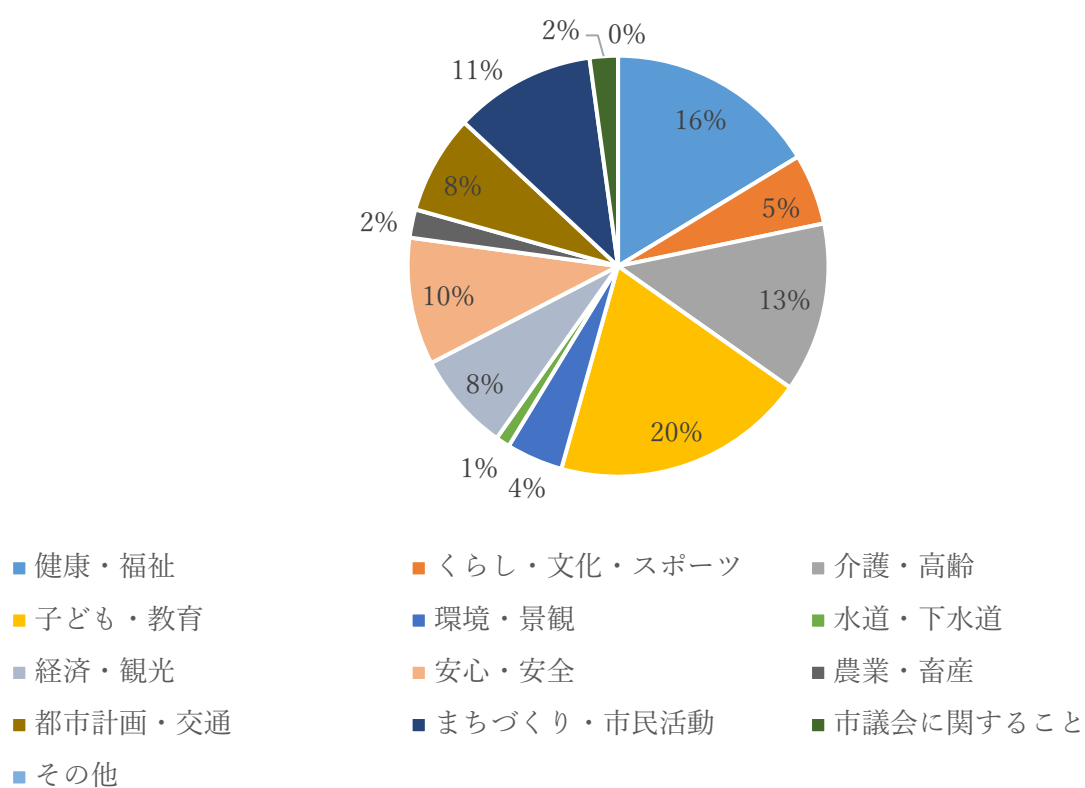
- ・もう少し長くてもよかった
- ・(いろんな話ができ)(現状を話せたので)よかった(2名)
- ・よく話を聞いてくれた
- ・ある程度自分の意見を言えた
- ・親身になって話を聞いていただけたので、意見を出しやすかった
- ・後は議会の方で何をしてくれるのか?
- ・参加者みんなにまんべんなく聞いていただいた
- ・普段できないことができたと思う
- ・本当はもっと話したいと思いますが、時間の都合上で申し訳ありませんでした
- ・意見交換の場を作っていただきありがとうございました。こういう機会がないと議員さんと話し合うきっかけはないので良かったと思います(2名)
- ・有意義な時を持てて良かった。居場所の件、よろしくお願いいたします
- ・また、このような機会を作っていただきたい
- ・普段抱えている問題を出して意見を出して、解決法も出せました
- ・たくさんの意見が出ていて勉強になりました
- ・これからの市議のお力に期待します
- ・住民は普段からまちづくりを考えている
- ・意見交換できる機会がとても大切だと思ったので、もっとやってほしい
- ・少人数だったので、話が多くできた
- ・もう少し多数の人に参加してもらってもよい
- ・思っていた以上にまじめな印象であった。話がうまい

問5 意見交換をしてみて議員の印象はどうでしたか

- ・とても熱心な方たち
- ・（親しみやすく）（市民目線で）とてもよかった（5名）
- ・熱心でよいと思いました
- ・消防団、那須塩原市のことについて、しっかり考えてくれている
- ・色々と考えてくれている
- ・ソフトな感じでよかった
- ・消防団に対して良いイメージを持ってくれている
- ・会話をしやすかった
- ・すごく丁寧に話してくれました。聞き方も優しくとても良かったです
- ・テーマが広すぎた気がします
- ・ユーモアな意見交換ができたと思う
- ・ご理解いただいた
- ・とても感じ良く、気遣いがありとても良かったです
- ・話しやすい雰囲気を作ってください、とても話やすかったと思います
- ・親身になってお話を聞いてくださいました。今後も連携していきたいなと思いました
- ・地域の現状をざっくばらんに話ができ、きちんと聞いていただけたのでよかった（2名）
- ・積極的な意見が出てよかったと思います
- ・とても気さくで話しやすかったです（5名）
- ・日頃「かたい」という印象でしたが、ユーモアもあったり、親近感がありました
- ・とてもよく話を聞いてくださって解決に向けて話し合えたのはとても印象が上がりました
- ・とても誠実に対応いただきました
- ・良い印象でした。しっかりと話を聞いてくださりありがとうございました
- ・親身に話を聞いてくれ、とても満足しました
- ・皆若々しく見えた
- ・積極的に意見を聞こうとしていた
- ・勉強されているなと思いました

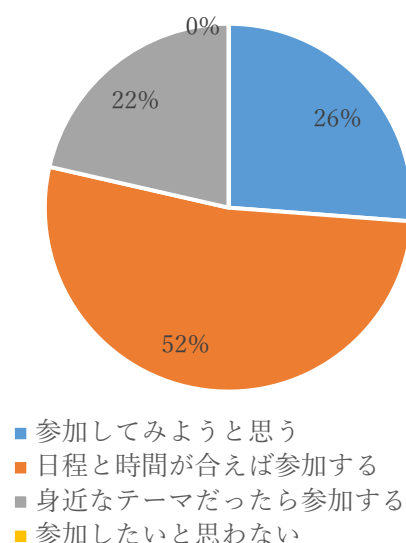
問 6 今後の意見交換のテーマとしてどのような項目を希望しますか。以下から選択し、その下のカッコ内に具体的な内容をご記入ください（複数可）

健康・福祉	1 5	安心・安全	9
くらし・文化・スポーツ	5	農業・畜産	2
介護・高齢	1 2	都市計画・交通	7
子ども・教育	1 8	まちづくり・市民活動	1 0
環境・景観	4	市議会に關すること	2
水道・下水道	1	その他	0
経済・観光	7		



問 7 次回も「なしおふれあいトーク」に参加してみようと思いますか

参加してみようと思う	1 1
日程と時間が合えば参加する	2 2
身近なテーマだったら参加する	9
参加したいと思わない	0



問 8 その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等をご記入ください

- ・このような話し合いは良いことがと思います。もっと早く話し合いしたかったですね
- ・今日の意見をぜひ反映してもらいたい
- ・参加方法がわからない
- ・日々の発達（発展）を踏まえて、日本全体が中産階級化したのかと思いきや格差が大きくなった社会ではないかと感じます。このような状況において、従前の価値観による判断・分析ができないという壁にぶつかっていると言えるではないでしょうか。ＩＴ革命を経て世界のデータを集められるようになり、DX に始まるデジタル革命に対応すべきと言われます。以上のように考えてみると、どのようにして生活（生きて）いくべきなのか悩むところです。議会を通じて様々な方策への提言をお願いしたいです※市民（人間）が劣化して滅亡したローマ帝国のようにならないようにしたい
- ・今回の結果を何らかの形にしてほしい。このような場を作っていただきありがとうございました
- ・よりよい地域になるために頑張ってください
- ・このような場を作っていただきありがとうございました
- ・テーマを決めると発言しやすいと思います。皆様のお力でよりよいまちづくりをお願いします
- ・那須塩原市がよりよい街になるように頑張ってください
- ・もっと地域での福祉組織作りに力をかけてほしいです

- ・本日は私たちの意見をきちんと耳を傾けて聞いてくださってありがとうございます。
那須塩原市の未来は明るいと感じました
- ・有意義な内容でした。公民館等を使い、地域の方に参加してもらおうとよいと思いました（気軽に参加できるお茶会（サロン）の雰囲気です）
- ・この地域は付録様々な考え方をもった方が多いです。住む人が増えていく、そんな那須塩原市であってほしいです。議員の先生方の日頃からの御活動に感謝申し上げます。本日はありがとうございました
- ・PTAの方たちも参加できるようになれば、もっといい街づくりにつながるかなと思います。ぜひやってください
- ・議会・議員の活動内容を幅広く周知してほしい
- ・議会報告会ということで市議会議員の方々が参加されていますが、現状等具体的なことを聞くには市職員の担当者等の出席もあっていいかと

令和4年11月4日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第1班 班 長 山形 紀弘

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年10月31日（月）午後7時～午後8時30分
2. 会 場 那須地区消防組合黒磯消防署
3. 担当議員と役割
【担当議員】

中里 康寛（司会者）	鈴木 秀信（C班記録、意見発表）
星 宏子（記録）	相馬 剛（B班ファシリテータ）
鈴木 伸彦（B班記録、意見発表）	中村 芳隆（C班ファシリテータ）
山本はるひ（A班ファシリテータ）	玉野 宏（A班記録、意見発表）
4. 参 加 者 市民19人（男性19人、女性0人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
 - ・参加者がみな消防団役員ということで、和やかな雰囲気で行った。
 - ・質問内容が吟味されていたため、意見交換がどの班も活発に行われた。
 - ・（会場の都合で）終了時間が8時30分と定められていたため、意見交換の時間が短かった。
 - ・スムーズな進行で、定刻通り順調な運営がされていた。

令和4年11月24日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第2班 班 長 森本 彰伸

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年11月22日（火）午後2時～4時

2. 会 場 いきいきふれあいセンター

3. 担当議員と役割

【担当議員】

星野 健二（司会者）

林 美幸（記録）

小島 耕一（記録）

三本木直人（班員）

佐藤 一則（班員）

大野 恭男（班員）

齋藤 寿一（班員）

金子 哲也（班員）

4. 参 加 者 市民21人（男4人、女性 17人）

5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり

6. 報告会の運営について

特になし

令和4年12月15日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第3班 班 長 田村 正宏

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年11月22日（火）午後1時30分～3時30分
2. 会 場 西那須野公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】

益子 丈弘（司会者）	堤 正明（記録）
室井 孝幸（記録）	齊藤 誠之（班員）
平山 武（班員）	眞壁 俊郎（班員）
4. 参 加 者 6人（男性6人、女性0人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
特になし

令和4年12月15日

報 告 書

那須塩原市議会議長 松田 寛人 様

那須塩原市議会 第4班 班 長 益子 丈弘

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 令和4年11月17日（木）午後7時～9時
2. 会 場 三島公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】

齊藤 誠之（司会者）	林 美幸（記録）
室井 孝幸（記録）	森本 彰伸（班員）
小島 耕一（班員）	山形 紀弘（班員）
星 宏子（班員）	
4. 参 加 者 市民5人（男性5人、女性0人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について